

人類学フェスティバル 2025「フィールドワーク・フォトコンテスト」結果

「フィールドワーク・フォトコンテスト」の上位7作品をご報告します。

本コンテストには37作品の応募があり、プレ選考（12月22日～1月5日実施、33名による投票）を経て上位25作品を選出しました。これらの作品は人類学フェスティバルにて展示し、来場者による投票を行いました。

当日は48名の方にご投票いただき、その結果にもとづき上位7作品を決定し、授賞式を行いました。

ご参加いただいたみなさまに感謝申し上げます。

【1位】



多和田涼太
(中京大学)

タイの伝統的な祭り「ロイクラトン祭り」を愛西のタイ寺で体験した時の1枚。

灯籠(クラトン)を川に流す(ロイ)というタイの人々の間で古くから続いていた風習で。河川の水位がもっとも高く、旧暦12月(現在の10月または11月)の満月の夜に人々が川岸に集まっておこなわれる。バナナの幹や葉などで模った灯籠の上にロウソクと線香を立て、川に流したのが始まりといわれている(タイ国政府観光庁HPより)。

写真のクラトンは、私達が寺の裏庭から採集したバナナの幹と葉に花で飾りつけして、ロウソクと線香を立てたもの。クラトン作りはとても大変だったが、お坊さんにとっても楽しんでもらえてうれしかった。

【2位】



多和田涼太
(中京大学)

岐阜県海津市にあるスリランカ寺「名古屋シリサマーディ ビハラヤ」に新しくできるといふ仏塔の内部に特別に入らせていただいたときのもの。外観の真白で綺麗な仏塔とは違い、鉄骨が張り巡らされている空間に息をのんだ。

なお、現在はすでに仏塔は完成しており、仏塔内部は宝物などが納められたのちに完全に入り口を封じたため、いかなる生き物も立ち入ることは不可能となった。

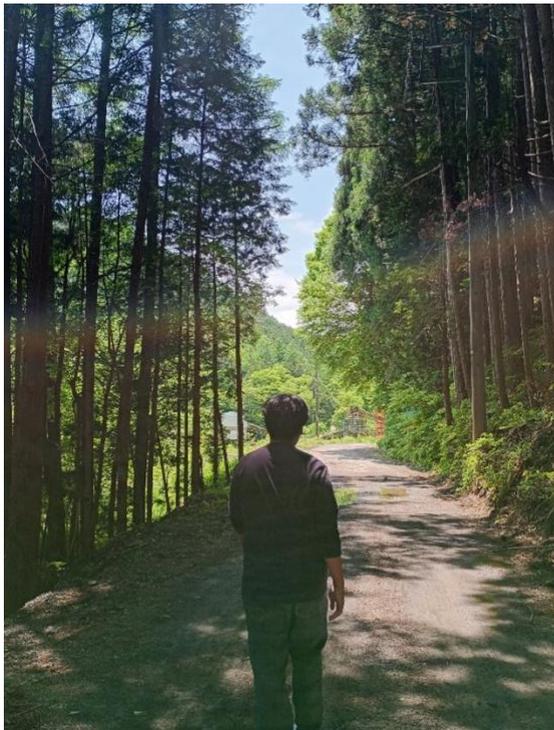
【3位】



吉本愛佳
(名古屋大学)

暗闇散歩の帰り道。山奥の村だから星がよく見えるかもね、と言って道路に寝っ転がった皆様です。

【4位】



栗木謙成
(名古屋大学大学院)

長野県王滝村での予備実習中、民宿付近を散策していた時の写真です。

薄暗い山道を抜ける直前、前を歩く先輩の頭上に虹がかかっています。

【5位】



多和田涼太
(中京大学)

「ロイクラトン祭り」で川に流す灯籠（クラトン）。ロウソクのあたたかな光に照らされる花々とバナナの葉のコントラストがポイント。

【6位】



実習中に偶然見つけた廃車。緑と花に寄り添われ、青い空を見上げている。

吉本愛佳
(名古屋大学)

【7位】



調査実習地である寝姿山から見る景色。眺めがいいからお気に入りです。

CHEUNG Yiu Chuen
(南山大学)

★ご応募ありがとうございました！（敬称略）

安達友隆（南山大学大学院）、伊藤吉龍（南山大学大学院）、黒川獅文（中京大学）

小玉翔太（南山大学大学院）、三浦珠奈（南山大学）